

どう伝える？ 原発事故 のこと

3・11を
忘れない
福島から
未来へ

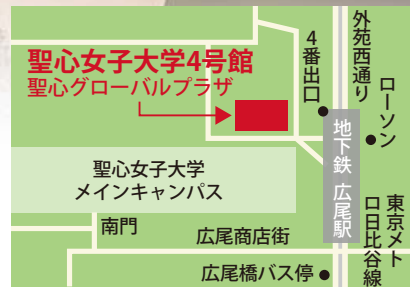
2019年

3月9日(土) 14:00 ~ 18:00

聖心女子大学 4号館

聖心グローバルプラザ・ブリット記念ホール

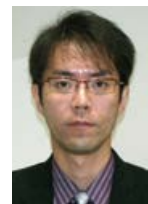
(地下鉄日比谷線 広尾駅4番出口から徒歩1分)



宇都宮大学学術院
国際学部准教授

清水奈名子
(しみずななこ)

2006年、国際基督教大学大学院行政学研究科、博士後期課程修了(学術博士)。国際連合の安全保障体制について研究すると同時に、東京電力福島第一原発事故後の被害調査を進めている。2011年より宇都宮大学国際学部准教授。国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究フォーラム共同代表。



福島大学准教授

後藤 忍
(ごとうしのぶ)

大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻修了。博士(工学)。2004年から現職。専門は環境計画、環境システム工学、環境教育。福島第一原発の事故後、福島大学放射線副読本研究会を組織し、独自の放射線副読本を作成。また、福島県環境創造センター交流棟「コミユタン福島」とチェルノブイリ博物館の展示内容の比較なども行っている。福島市在住。

プログラム(予定)

第1部

原発事故から8年、「見えない化」される被害の今

- 原発事故後の政策と被害の現状(満田夏花 / FoE Japan)
- 押しつぶされた「声」〜ジェンダーの視点から
(清水奈名子 / 宇都宮大学学術院国際学部准教授)

第2部

当事者として被害を語る

- 福島のお母さんたちの思いー福島在住のお母さん(福島ぼかぼかプロジェクト)
- 福島で暮らすこと 若者たちの思いー福島在住の大学生から
- 避難区域のいま、女性や高齢者の声は

第3部

原発事故を語り継ぐために

- チェルノブイリとの比較より 後藤忍(福島大学共生システム理工学類准教授)
- パネルディスカッション

参加費：500円 (FoE Japanの会員および学生無料)

主催：国際環境 NGO FoE Japan TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986 E-mail: info@foejapan.org

※お申込みは、FoE Japanのウェブサイトから。 もしくはお電話 / FAXにて、①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先をご連絡ください。

ぜひ
ご寄付を
願います。

FoE Japanは、福島原発事故の被害者支援、原発ゼロをめざす政策転換、福島の親子の保養のために活動を継続していきます。
郵便振替口：00130-2-68026 口座名：FoE Japan (通信欄に、「原発チームへの寄付」とお書きください。)
または、城南信用金庫 高円寺支店 普通358434 エフ・オー・イー・ジャパン (送金後、確認のためにご一報ください)